

# 初級用 3.5 & 7Mc 帯送受信機

“サン” QRT-7

≪電進≫



≪QRT-7の外観≫

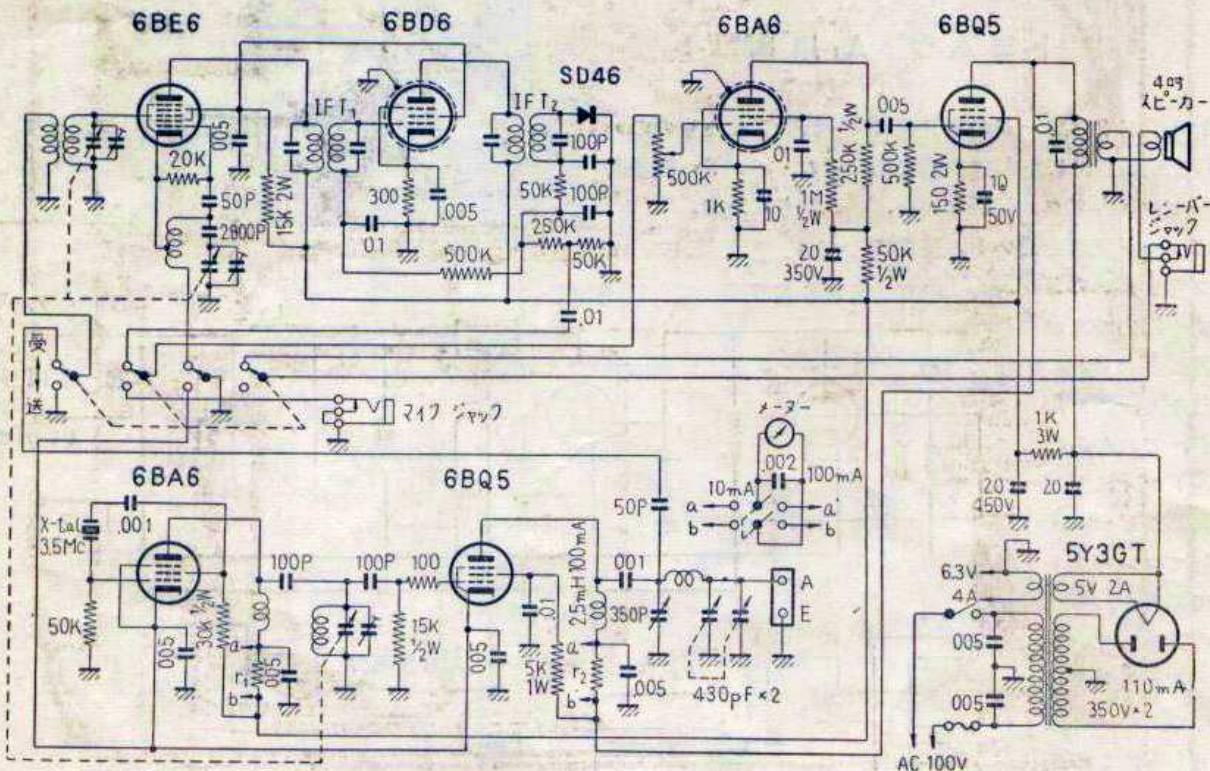
≪QRT-7 主要定格≫

アンテナ電力	8W (A <sub>3</sub> )
発振方式	水晶制御
周波数レンジ	3.5Mc, 7Mc
受信周波数	3.5~10Mc
使用真空管	6BE6-1, 6BD6-1, 6BA6-2, 6BQ5-2, 5Y3GT-1, SD46-1
寸法	高170×横320×奥110mm
重量	7kg

6BA6の変形ピアース発振器と6BQ5シングル出力段、変調出力は受信部の低周波段を流用するハイシグ変調でA<sub>3</sub>を得るトランシーバーである。キャッチ・フレーズの初級ハム・ラジオ・マンに最適というのがピッタリあてはまる。

送・受の切りかえは図示のように4回路2接点(摺動)スイッチで、送信の場合にアンテナ入力コイルを接地すると共に6BE6のカソードをオープンとして過大入力に対しまた6BE6の動作をとめている。受信時には送信段2管のカソードをオープンとしていることがわかる。受信時のπ形整合アンテナ使用は一般のアンテナ入力回路とくらべて50%の感度上昇があることが発表されている。アンテナ線路、とくに受信時の整合がS/Nの向上に効果的であることが知られる。

なお念のため申し添えれば“変形ピアース形”発振器は比較的簡単でありながら安定な動作で、プレート同調回路に関係なく発振するため、プレート出力周波数は、3.5および第2高調波を取りだせることのできる使いよいものであることが知られている。



国内メーカー編